呉市の小中一貫教育

令和5年度 令和6月3月29日発行 呉市教育委員会学校教育課 小中一貫教育指導グループ



幼保小連携 特集

子供の育ちと学びをつなぐ 幼保小連携・接続

幼児教育

接続カリキュラム

小学校教育



【担当指導主事より】

接続カリキュラムとは、「つながり」や「接続」を意識して編成されたカリキュラムのことです。

これらの接続カリキュラムを基 に、「子どもの育ちと学びの連続 性」を意識し、幼保小連携・接続の 取組を充実させることが大切です。



今年度は、広島県教育委員会から「『育ちと学びをつなぐ』幼保小連携・接続事業」の指定を受け、幼保小連携を進めてきました。それぞれの地域で、園・所等で作成している「アプローチカリキュラム」と、小学校で作成している「スタートカリキュラム」を活用して、子供たちの育ちと学びをどのようにつなげていくか連携を図り、各地域の実態に応じて、様々な取組が行われています。

川尻小学校区の取組

安心して小学校へ食育でつなぐ幼小連携

小学校の給食には、どんな献立がでてくるのか、準備は誰がするのかなど、園児たちは不安でいっぱいでした。そこで、小学校の栄養教諭と認定こども園の教諭が連携し、こども園で小学校の給食について紹介しました。季節に合った献立や食材の栄養素、給食の準備の仕方などのお話がありました。園児たちは、「赤・黄・緑のグループは知ってるよ。」「早く食べたい!」「ストローを置くお仕事やりたいな。」と、小学校の給食に期

待を膨らませていました。



給食献立の紹介



宮原小学校区の取組

顔見知りになることが連携の第1歩 相互訪問で、相互理解

「お互いの顔を知り,話しやすい関係を作ることから始めよう。」という考えから,保育所と小学校の教職員が**互いに訪問し合い**,相互理解を深めていきました。

生活科の「あきのおもちゃらんど」に園児を招待する活動では、内容の連携だけでなく、事前、事後の連携も大切にしています。**I 度の連携で終わらず、**「幼児期の育ちと学びを小学校へつなげる」という視点で連携を重ねています。

【活動や授業に関する連携内容】

- ・活動や授業前の子供の実態
- ・活動や授業の内容,教師の支援や環境構成
- ・活動や授業後の成果や課題, 今後へのつながり

作ったおもちゃで一緒に遊ぶ様子





おもちゃの作り方を伝える様子



<どなたでも>

呉市学校教育課 HP に 掲載しています。



<呉市の先生>

ロイロノートスクールの資料箱に保存しています。 【先生のみ】→【教育委員会】→【小中一貫教育だより】 (広島県呉市)